

# かなりやだより

令和8年3月16日  
認定こども園星ヶ丘二葉園  
かなりや組

秋に植えたチューリップの芽がのび始め、様々な経験をした二葉園での生活の終わりが、すぐそこまで迫ってきている事が実感となっているようです。沢山泣いた事、沢山笑ったこと、沢山挑戦した事、、、全てが「宝物」そして、これからの子どもたちの土台になっていると思います。

## かなりや組の一年で経験したこと

～生きる力の基礎！幼児期かの終わりまでに育ってほしい「10の姿」を色別で表してみました～

### 4～8月

「おはようございます」「みなさんさようなら」の挨拶の習慣がつき、子ども同士も自然と朝の挨拶を交わす子どもたち。

進級後から、話し合いの機会を多くつくっていくと、皆が意見を出せるように「○○ちゃんはどう思う？」と聞く姿もありました。

お楽しみ会は、「それもいいね」と友だちの意見の認め合いが溢れ、アイデア満載の世界が出来上がり、その世界に飛び込んで探検を楽しむ子どもたちの表情は、輝いていました。

年長児として、他クラスのお昼寝明けのお手伝いに行きたいとの意見が上がり、優しい口調で話しかけ、手をつないで寄り添ったり、週末のシーツ外しを積極的に行う姿は、すっかり年長児でした。

チャレンジタイムでは、共通点や相違点に気付きながら問題を解いたり、数を数えながら多少の比較をすると同時に話を聞くことの大切さも経験しました。

世界について調べる事で、新しい発見や、人前で発表する緊張を経験しました。

### 9～12月

運動会では、目標に向かって諦めずに挑戦し続ければ、目標を達成できることや、全力で楽しみ、一人では感じる事のできない達成感や充実感を得ることができたようです。

収穫したサツマイモでのクッキングは、相性汁を作る事になり、沢山の食材を手分けして切りながら「まだこんなにあるー」とつぶやき、作る事の大変さと同時に、作ってくれる人への感謝の気持ちが大きくなり、「給食を残さず食べよう」という思いが一層強くなりました。

発表会では、グループごとに振り付けを考えたり、「見ている人に届ける」思いで、大きな声で台詞を言ったり、他クラスのオペレッタをワクワクした気持ちで見、真似る姿もありました。

工作では、様々な容器や道具を使い「これはテープの方がいいかな」「この材料の方が良さそうだな」と考え、材料を持ってきては作るを繰り返していました。

途中の作品や、使いたいものをすぐに取り出せるように管理することにも目を向けて過ごす2学期でした。

### 1～3月

ドッチボールとドロケイの熱は冷めることなく、どこの公園に行っても汗を掻く程走り周り、友だちと声を掛け合い、連携プレーがどんどん向上していきました。

最後の遠足では、自分の荷物の片付け等を一人でやる事で、「どうしたら綺麗に入るのか」と試行錯誤する場面もありました。

中には、ゴミ袋があったほうが良いと思い、準備してきたお友だちもいました。

話を聞く時は、「話さない」「聞く」事が定着してきたり、欲求が通らなくても我慢したり、譲る姿もあり、自分の気持ちを調整する力も身につきました。

デイサービスでは、質問に対して言葉の語尾に気を付けながら丁寧な挨拶や言葉を意識して返答する子も増えたり、「相手を知り」「相手を思う事」で自分自身の行動を見直し、場所に応じた行動をすることの大切さを経験しました。

時間や30分あるからまだ遊べるね」「あと5分だからそろそろ片付けよう！」と気付ける姿に関心しました。

1年間で、「諦めずに挑戦する事」「思いやりの気持ち」「考えて行動すること」の大切さを経験しました。これは園だけでなく、保護者の方の愛情・ご理解・ご協力があってこそ見られた姿です。この「生きる力」が身についた子どもたちの、これから踏み出す新しい世界での成長が楽しみです。ずっと応援しています。ありがとうございました。 かなりや組担任：猪狩・富樫